

## 高等学校2年生 保健体育科学習指導案

### 1 単元名 大単元「健康を支える環境づくり」 小単元（保健サービスとその活用）

#### 2 単元について

健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっている。したがって、全ての人が健康に生きていくためには、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて、理解を深めるとともに、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができるようとする必要がある。

このため、本内容は、人間の生活や産業活動が自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあり、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策の改善の対策を取る必要があること、また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づいて行われていること、食品の安全確保は健康の保持増進にとって、重要であり、食品衛生活動は食品の安全を確保するよう基準が設定され、それに基づいて行われていること、保健医療制度や地域の保健医療機関を適切に利用することが重要であり、その活用に関わる方法を学ぶとともに、医薬品は有効性や安全性が審査されており、正しく利用することが有効であること、我が国や世界では、健康課題に対して様々な保健活動や社会的対策が行われていること、健康に関する環境づくりが重要であり、積極的な社会参加が人々の健康につながること、適切な情報が有効であることなどを中心として構成している。

#### 3 単元の目標

<b>知識・技能</b>	健康を支える環境づくりについて、健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境、食品の保健、及び我が国の保健医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようとする。
<b>思考力・判断力・表現力等</b>	健康を支える環境づくりについて、社会における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようとする。
<b>学びに向かう力・人間性</b>	健康を支える環境づくりについて、社会生活における健康の保持増進に関わる課題について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようとする。

#### 4 生徒の実態と指導観

授業態度は良好で何事も一生懸命取り組むクラス。保健については好き嫌いが分かれ、単元によって関心度に違いがあり、特に保健行政というものに聞きなじみがなく「わからない、興味がない」という生徒も少なくない。

保健行政は単元自体が少し難しく考えづらいことも多くあるため、グループ活動で他の生徒の意見を聞いたり、自分の意見・考えを発信したり、協力しあいながら知識を学び自己理解や他社理解につながるような指導をしていきたい。

## 5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとることがあること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</li> <li>食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それらに基づき行われていることを理解している。</li> <li>生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。</li> <li>我が国や世界では、健康課題に対して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。</li> <li>自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが大切であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
----	--------	----	-------	----

1	大気汚染と環境			
2	水質汚濁、土壤汚染と健康			
3	環境と健康にかかわる対策			
4	ごみの処理と上下水道の整備			
5	食品の安全性			
6	食品衛生にかかわる活動			
7	保健サービスとその活用 ・保健行政とは何か理解している ・保健行政の活動について理解している ・保健サービスの内容について理解している ・健康情報の活用することができる	○		
8	医療サービスとその活用			
9	医薬品の制度とその活用			
10	さまざまな保健活動や社会的対策			
11	健康に関する環境づくりと社会参加			

## 7 本時の展開

### ① 本時の目標

保健行政の役割について例をあげて説明できる。

保健サービスの活用の例をあげることができる。

### ②展開

段階	学習活動【学習内容】	指導上の留意点 ◇評価
----	------------	-------------

<b>導入 8分</b>	挨拶・出席確認  本時の目当てを確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートを配布する。</li> <li>○ワークシートには大切だと思ったことやほかの人の意見でよいと思ったことは色を変えて自由に記入するということを伝える。</li> </ul>
<b>めあて：保健行政の役割と健康の保持増進のかかわりについて理解しよう</b>		
	<p>【私たちが健康でいられるのはなぜか考える】</p> <p>予想される生徒の反応： 予防接種、健康診断、運動、手洗いうがい、マスク、バランスの良い食事、消毒</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校、中学校、高校で毎年一学期はじめに何か保健室や多目的室で行ったことを覚えているか問い合わせる（補助発問）</li> <li>○学校で行っている健康診断の種類の画像を提示する（歯科検診、視力検査）資料①</li> <li>○今日は上記のことを取り組んでいる公的機関について学習することを伝える</li> </ul>
<b>展開 3 2 分</b>		
	<p>【保健行政の役割について知る】</p>	
	<p>○飲料水の安全の確保や飲食店の衛生面の監視などは公的機関が関わる必要があることを知る。</p>	<p>○どれだけ気を付けて生活していても健康はそれだけで保持増進されたり回復させたりすることはできないので保健行政を活用することが大切であるということを伝える。</p>
	<p>○健康の保持増進と回復のために必要なことを国や地方自治体が組織的に関わっている。これを保健行政ということを知る。</p>	<p>○ホワイトボードを見ながら、ワークシートの穴を埋めるよう指示する。</p>
	<p>ワークシートに記入する</p>	
	<p>【4つの保健行政について知る】</p>	
	<p>発問3：4つの保健行政の対象について調べよう</p> <p>5, 6人の班を作り指示された保健行政について調べる。 調べたことを配布された紙に記入し、ホワイトボードに貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯を通じた健康管理のための保健行政は地域保健、学校保健、産業保健、環境保健の4つで成り立っているということを伝える。</li> <li>○5, 6人の班を作成させ、4つの保健行政を各班に振り分け、それぞれ調べさせる。</li> <li>○各班に白紙を配布し、そこに調べたことを記入させる。</li> <li>○各班の代表にホワイトボードに紙を貼るよう指示し、前で発表させる。</li> </ul>

	<p>○教科書の P116 の資料①「生涯を通じた健康管理のための 4 つの保健行政とその例」を見るよう指示し、具体例を挙げながら説明する。</p> <p>○生徒が書いたことが当てはまっていたらラインを引き、足りないところは付け足す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健 乳幼児、自営業者、専業主婦など（産業保健と学校保健で対象とならない成人）、高齢者など。 乳幼児健診、育児相談、がん検診など</li> <li>・学校保健 児童生徒や教職。 健康診断、救急処置、感染症予防など</li> <li>・産業保健 主に企業に所属するなどして働く人々。 健康診断、後期高齢者健康診査など</li> <li>・環境保健 健康に影響を与える環境。 食品や飲料水の安全性のチェック、ごみ処理施設の整備</li> </ul>
<b>【保健所と保健センターの違いを知る】</b>	
	<p>発問 2：コロナ期間で感染者に連絡や、ワクチン接種活動の中心となって動いていた機関は保健所と保健センターのどちらか考えよう</p>

○保健所

都道府県や市・区に設置されていて専門的で広域的な活動していることを知る

○保健センター

市区町村に設置され住民に身近な保健サービスを提供していることを知る  
ワークシートに記入する。

○資料②を提示し、発問する。

○保健所であるということを伝え、感染者への連絡やワクチン接種の活動の他に濃厚接触者の療養期間の指示や保健所が設置されている感染者数の統計調査なども行っていたということも伝える。

○私たちの健康や環境に特に関わり深い活動を行っているのが保健所と保健センターであるということを伝える。

○板書しながら項目ごとに違いや特徴を説明し、ワークシートに記入させる。

○所属

・保健所

都道府県、指定都市、中核市、その他の政令で定める市などの特別区が設置

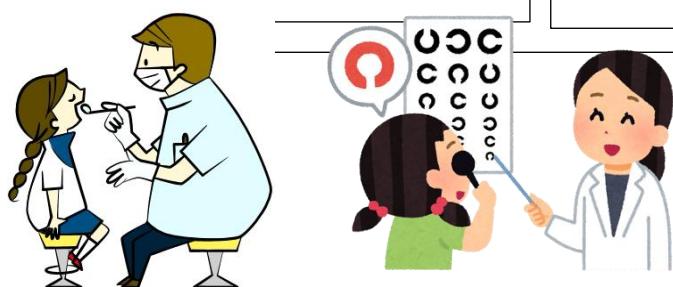
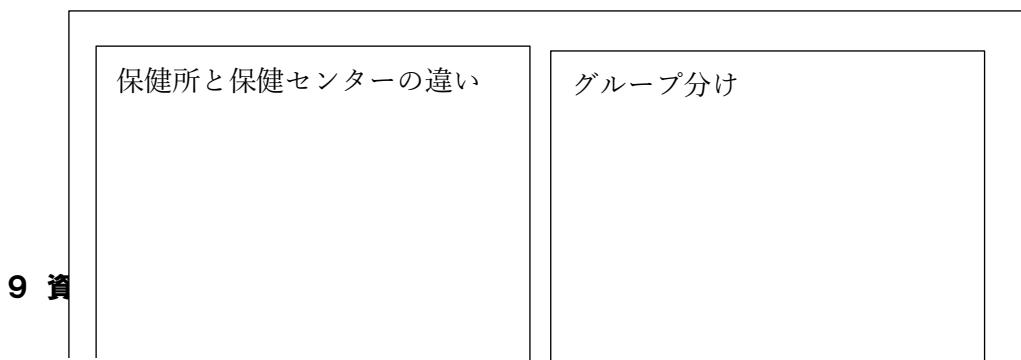
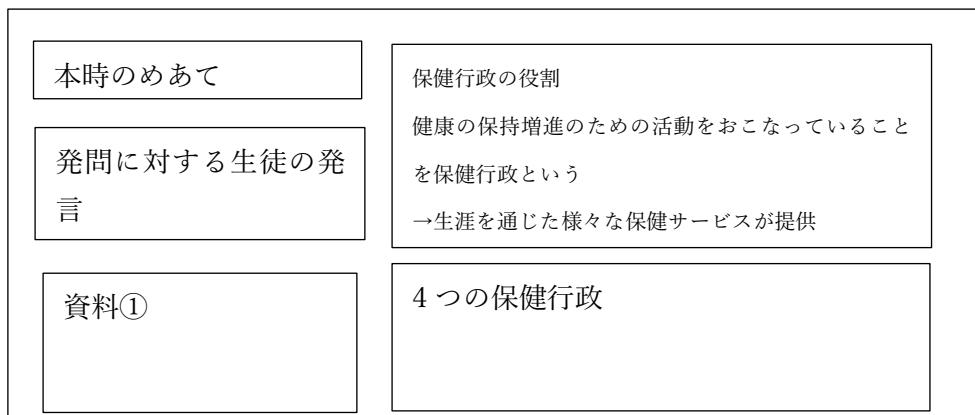
	<p>* 小さな市区町村には設置できない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター</li> </ul> <p>市区町村が設置できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サービスの対象</li> <li>・保健所</li> </ul> <p>医療や保健サービスを住民に直接提供することは少ない</p> <p>医療機関や保健センターと連携している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター</li> </ul> <p>地域住民に対して直接サービスを提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○役割</li> <li>・保健所</li> </ul> <p>各市町村にある医療機関や保健センターの困りごとの解決を支援したり、医療体制を改善したりする。</p> <p>市民サービスは少なく、医師や保健師などの専門職と連携している。</p> <p>専門性がある医師などと連携しないと解決が難しい問題の解決の支援。</p> <p>性感染症、災害、精神保健などのサービスを提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター</li> </ul> <p>生活習慣を改善する相談、妊娠から出産とその後の子育て支援、予防接種など</p> <p>生活に密着したサービス。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○所長、センター長</li> <li>・保健所</li> </ul> <p>医師（高度な専門性が必要なので）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センター</li> </ul> <p>医師である必要性はない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○政令指定都市や中核市では保健所と保健センターの両方の役割を持つ保健所もあるということを伝える。</li> <li>○地域によっては保健センターを、保健福祉センター、保健福祉総合センターなど独自の名称をついていることもある。</li> </ul> <p>【保健サービスの内容について知る】</p>
発問4：これらの項目を保健所と保健センターでできることや役割を調べよう	

<p>グループで個人の考えをもとに話し合う。この時にタブレット ICT を使用して調べてもよい。 話し合いが済んだら、各グループに配布された語群のカードをホワイトボードに張り付ける。</p> <p><b>【健康情報の活用について考える】</b> ワークシートの事例を見て様々な健康情報が飛び交う中で、正しい情報を拾うにはどうしたらよいのかを考え、ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各グループに紙を配布する。</li> <li>○グループで話し合いをして、配布された紙に保健所と保健センターの業務の違いをグループ分けするよう促す。</li> <li>○ICT を使用して調べてもよいということを伝える。</li> <li>○各班書いた紙を前に貼ってもらい、順番に発表してもらう。</li>        <li>○資料③を提示し、市区町村などの広報には保健所や保健センターが提供する様々な保健サービスが記載されていることを伝える。</li> <li>○公的機関だけでなく、インターネットやマスコミ、民間団体、知人から提供されるものもあり、信頼性の低い情報もあることから、それらを吟味し、適切に判断することが必要であるということを伝える。</li> <li>○教科書 P128 の特設7の事例を紹介しそれをもとに生徒自身が情報を正しく判断するためにはどうするべきかを考えさせる</li> <li>○机間指導をし、何人か指名し全体に共有させる。</li> </ul>
---	--

	<p>◆知識</p> <p>保健サービスとその活用について関心を持ち、仲間の意見や考えを聞き、話し合いに参加しようとしている。(学習シート)</p> <p>&lt;A 評価とするポイント&gt;</p> <p>具体的に保健行政の役割と保健サービスの活用の例を上げることができる</p> <p>&lt;C 評価とするポイント&gt;</p> <p>具体的な保健行政のサービスについて説明できていない</p> <p>&lt;C 評価の生徒への手立て&gt;</p> <p>保健サービスとその活用について身近なことに関連付けて個別指導を行う</p>
--	---

<b>ま と め 10 分</b>	<p>振り返り 今回の授業を終えて、今後どのように保健サービスを活用していくかを学習シートに記入する 次回予告 挨拶</p>	<p>○学習を通して学んだことを学習シートに記入させ保健サービスとその活用について再確認させる。 ○ワークシートを各班で集めて提出するよう指示する。</p> <p>○次回は「医療サービスとその活用」について学習することを伝える。</p>
-----------------------------------	--	--

## 8 板書計画



資料①



資料②

#### 令和6年度 ママパパクラスのご案内

■ 保健・栄養コース											
産前・産後について助産師・保健師・栄養士がお話しします											
<b>保健①・栄養（妊娠中の話）</b> 定員：30人 年齢：30歳未満の16歳～27歳の妊婦とその家族 時間：保健師・助産師の話 14:00～15:00 栄養士の話 15:00～15:30 内容：妊娠中のからだの変化、受胎の目安 お産について、食生活についてほか 費用：無料 持ち物：母子手帳、筆記用具、飲み物など <b>このクラスでできること</b> >妊娠ジャケットの着用体験 >ペーパーフォークの試食体験 ~保健師・助産師・栄養士への質問もお受けしています~						<b>保健②（産後の話）</b> 定員：30人 年齢：30歳未満の16歳～27歳の妊婦とその家族 時間：保健師の話 14:00～15:00 休憩タイム 15:00～15:30 内容：赤ちゃんの特徴、赤ちゃんとの生活 産後のママのメンタルヘルスほか 費用：無料 持ち物：母子手帳、筆記用具、飲み物など <b>このクラスでできること</b> >赤ちゃん人形を抱っこ体験 >妊婦コーナーでの着用体験 >育児実習分野を考える ~産後に使える日野市のサービスもご紹介します~					
<b>沐浴コース</b> 赤ちゃんのお風呂の入れ方体験ができます。											
定員：20組 年齢：30歳未満の16歳～27歳の妊婦とその家族 時間：午前中の時間予約制 持ち物：母子手帳、筆記用具、飲み物など 費用：無料											
<b>申込方法</b> 日野市母子保健予約システム「AITEL」から予約 (右記QRコード参照) 保健・栄養コースは開催4日前まで申し込み 浴浴コースは開催3日前まで申し込み											
<b>お問い合わせ</b> 日野市 子ども家庭支援センター 母子保健係 TEL:042-843-3663 E-mail:hohoemi_boshi@city.hino.lg.jp 月～金曜日 8:30～17:15 (祝日、年末年始は除く)											
月 <b>4月</b> <b>5月</b> <b>6月</b> <b>7月</b> <b>8月</b> <b>9月</b> <b>10月</b> <b>11月</b> <b>12月</b> <b>1月</b> <b>2月</b> <b>3月</b> 例題1：保健 金曜 13日 (月) 20日 (月) 27日 (月) 3月 例題2：栄養 金曜 20日 (月) 24日 (月) 29日 (月) 26日 (月) 30日 (月) 28日 (月) 25日 (月) 23日 (月) 27日 (月) 3月 例題3：沐浴 金曜 20日 (月) 24日 (月) 29日 (月) 26日 (月) 30日 (月) 28日 (月) 25日 (月) 23日 (月) 27日 (月) 3月 会場 生活・保健センター 子ども包括支援センター「みらいく」 市役所本庁舎となり											

資料③

## 第4章 健康を支える健康づくり

### 7. 保健サービスとその活用 学習カード

学籍

名前

#### <保健行政の役割>

国や地方公共団体は、健康の保持増進と回復のための活動を組織的に行っており、これを\_\_\_\_\_という。

これらの活動により、生涯を通じた様々な\_\_\_\_\_が提供されている。

<保健所と保健センターの違い>

	保健所	保健センター
所 属		
対 象		
役 割		
所 長		

\* 政令指定都市や中核市では保健所と保健センターの両方の役割を持つ保健所もある。

\* 地域によっては保健センターを、保健福祉センターや保健福祉総合センターなどの独自の名称をつけているところもある。

<4つの保健行政>

	地域 保健	学校 保健	産業 保健	環境 保健
対 象				
具 体 例				

<保健サービスの内容を調べよう>

保健所	保健センター

<健康情報の事例について考えよう>

A大学の研究チームは、ある会社で働いている全社員に対して1年間調査を行い、「自転車に乗る人ほど腰痛が少ない」という研究結果を発表しました。

もしこのような情報を見たら、皆さんは家族に対して腰痛を防ぐために自転車に乗ったほうがよいと進めるでしょうか。もちろん、この研究結果から「自転車に乗ることは腰痛予防に効果がある」という結論が導かれ、それが正しいという可能性もあります。しかし、別の可能性もあります。

この事例からあなたは健康情報を正しく判断するためにはどうしますか？

<今後どのように保健サービスを利用していくか考えよう>